

地域と学校が協働し、育もう「ふるさと越廼」

福井市越廼中学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	14回
地域及び家庭への学校公開	12回

(2) 地域人材の活用 (のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	79人
授業ボランティア (含: 低ボラ)	44人
登下校支援ボランティア	90人
その他 ()	人

(3) 特色ある活動

テーマ	「ふるさと教育」
-----	----------

ふるさと教育

(郷土の自然や人間、社会、文化、産業等と触れあう機会を充実させ、ふるさとのよさを発見し、ふるさとへの愛着心を育てる。)

具体的活動内容

1 越廼地区の特色ある体験

(1) 郷土料理体験

1年生が、地元の方を講師として招き、地元でとれた食材をつかってカニ飯とアラ汁を作って食べた。



(2) 定置網漁業体験

地元の茶崎漁港から出港する定置網船に乗り、漁を見学した。その後、漁協の林さんから越廼の漁業や環境保全について講話をいただいた。

(3) 大味川水質調査とサケの稚魚放流

毎年、1年生が越廼中学校の横を流れる大味川の水質調査を行う。人の居住領域を流れる川の中で、水の美しさが最上級と言われている越廼の環境の良さを実感する。

3 公民館と連携した特色ある活動

(1) 公民館祭への参加

毎年、日曜日に開催される地元の公民館祭に1, 2年生が参加する。ステージで発表をしたり、展示を見たり、祭のイベントに参加したりして地域の人たちと交流する。

(2) 親子餅つきボランティア大会 (公民館と老人会とともに)

3. 11の東日本大震災を受け、公民館、老人会に協力をいただきながら、PTA主催の親子餅つき大会を行った。みんなでついた丸餅300個を石巻の寄磯小学校に贈った。



4 おじいちゃん・おばあちゃん教室

(1) 教育ウィーク週間にできるだけ多くの方に学校に足を運んでもらうように1年生対象には「茶道教室と和菓子づくり」、2年生対象には「グラウンドゴルフ」を開催し、子ども達の祖母祖父を招待して楽しい時間を過ごした。

5 地域でのボランティア活動

(1) クリーンデー

毎年、生徒会主催で越廼地区の海岸やバス停などの公共の場を清掃している。

(2) こしの渚苑訪問

越廼地区にある老人ホームを訪問し、歌を披露したり肩をもんだりして交流を行った後、施設の清掃を行う。こういった活動を長年続けてきた結果、本年度中日ボランティア賞を受賞した。

6 保育園、小学校との交流

(1) 曙保育園訪問

毎年、中学校3年生が「保育」の授業の一環で保育園を訪問し、保育士体験をする。

(2) しおかぜ交流会

毎年、連合音楽大会に参加する直前に小中がそれぞれのリハーサルとして合唱を発表し合う。今年は、学校祭と同時開催となりゲーム等で交流する場も設けた。

(3) 地区体育祭

7 地域のゲストティーチャー招く

(1) 進路パネルディスカッション

自分の将来に夢を持つ生徒づくりに力を入れ、キャリア教育の一環として「進路パネルディールカッション」を文化祭に行った。介護士、消防士、カウンセラー等、地元や身近に活躍する若者を招き、職業について話し合った。話し合いには、中学生だけでなく、小学生、PTA、地域・学校協議会委員も参加し、充実した時間を持つことができた。

(2) 茶道教室

地元の公民館で活動している茶道の先生をお招きし、お茶の作法を学んだ。事前に家庭科のおやつづくりとして1年生が祖父母を招いて「和菓子づくり」を行い、その和菓子を持ってお茶の授業に臨んだ。

8 PTAと連携した活動

(1) 資源回収

5月と10月の2回、PTA行事として資源回収を実施した。今年度で6年目となり、地域にも定着してきている。

(2) 奉仕作業

生徒数が28人と少ないが、校地が広く、校舎も大きい。そのため生徒が掃除しきれないところをPTAの活動として行い、高いところの窓ふきをしたり、調理室の食器の洗浄をしたりした。

(3) 日用品バザー

9月13日(日)、第5回日用品バザーを実施した。収集活動では、PTA会員に負担がかかっているが提供された物品を販売したところ昨年よりも収益が上がった。

9 学校関係者評価(外部評価)の実施

保護者対象に7月、12月の2回、地域・学校協議会の委員には12月にアンケートを実施した。保護者には、アンケート結果について紙面で回答した。地域・学校協議会の委員には、小中合同連絡会で公表した。

成果と課題

(1) 学校行事や生徒会活動等、地域と関わる行事を実施する度、目的を明確にし、生徒一人一人がめあてを持って取り組めるよう配慮した結果、それぞれの活動で充実感を得ることができたようだ。

(2) 小学校と中学校の行事を9年間を見通した形で見直すことにより、それぞれの行事が意味深いものになるようにさらに連携していきたい。